

「かながわの学び」について

－ 「発信・共有」の段階から
「個々の自覚」の段階へ－

横浜国立大学 青山浩之

かながわ学びづくり推進事業 — 基本的な「ねらい」 —

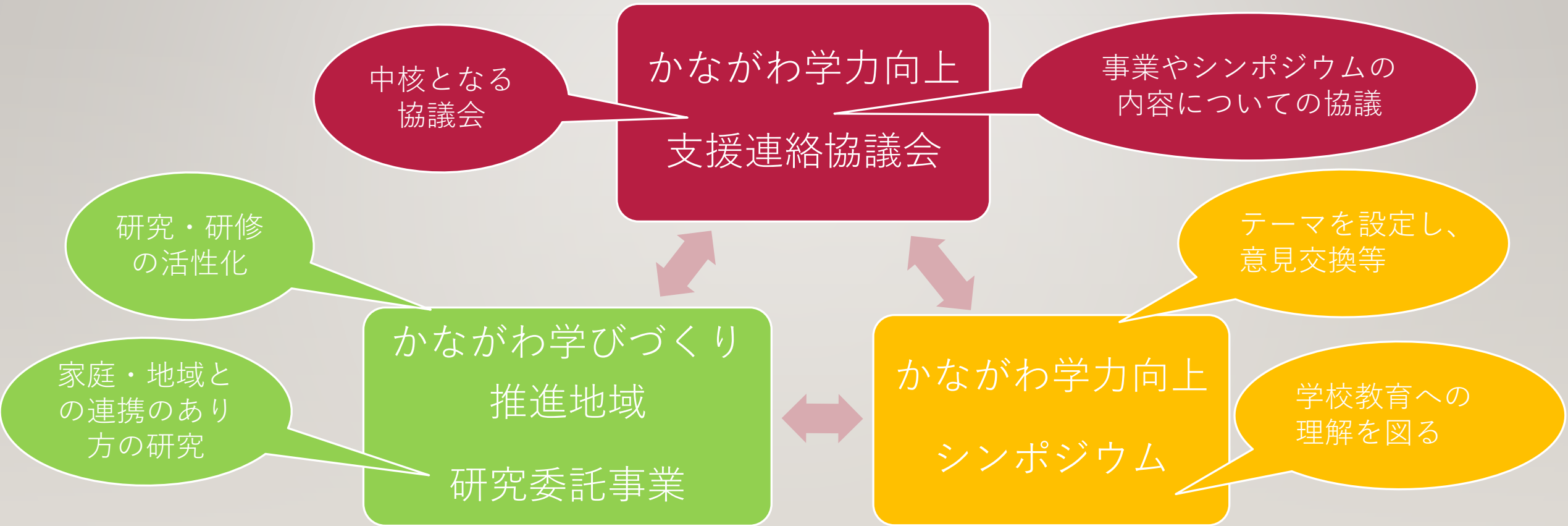
- かながわ学びづくり推進事業のねらい

授業の中で、「子ども同士の学び合う力」を育成し、**学びの質を向上させる**ため、**指導方法の工夫・改善、研修・研究に努める**

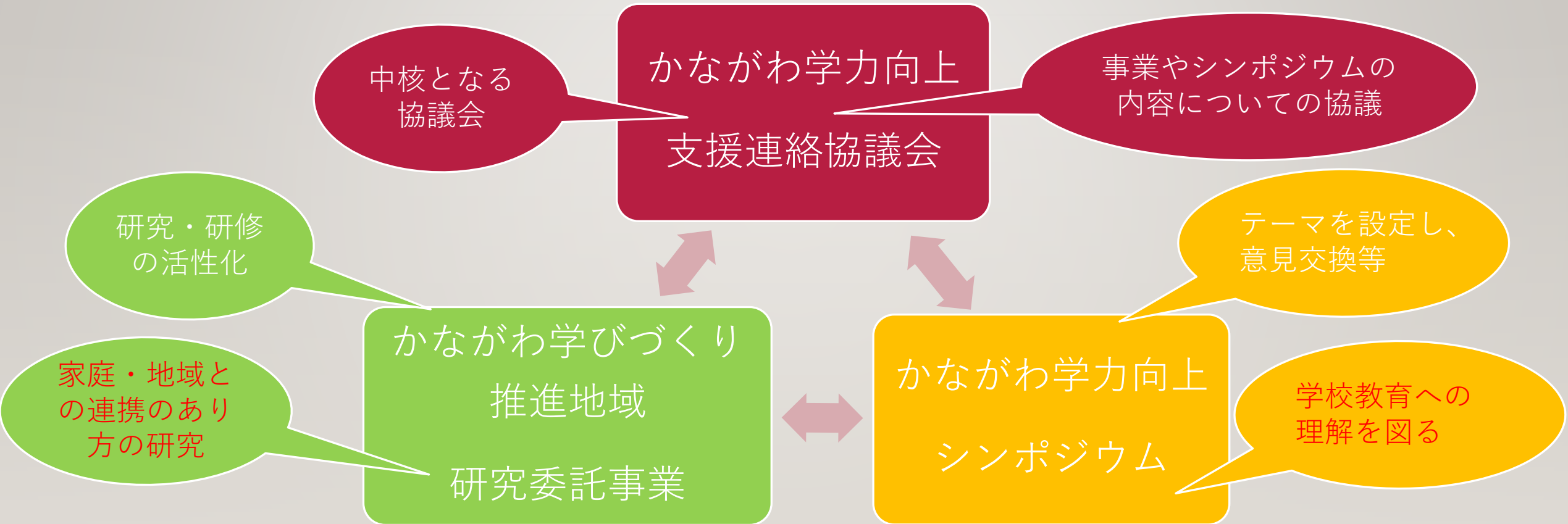
- かながわ学びづくり推進事業の基本

- **授業の中で**「子ども同士の学び合う力」の育成を図ること
- **教員自身が**自分の指導方法を常に振り返り、その際、校内で協働的・組織的な研究・研修を行う体制を整えること
- **校内の研修会・研究会には**、研究者や行政関係者がかかわることで、多面的な見方、考え方で議論を行うこと

かながわ学びづくり推進事業 — 3つの取り組み —

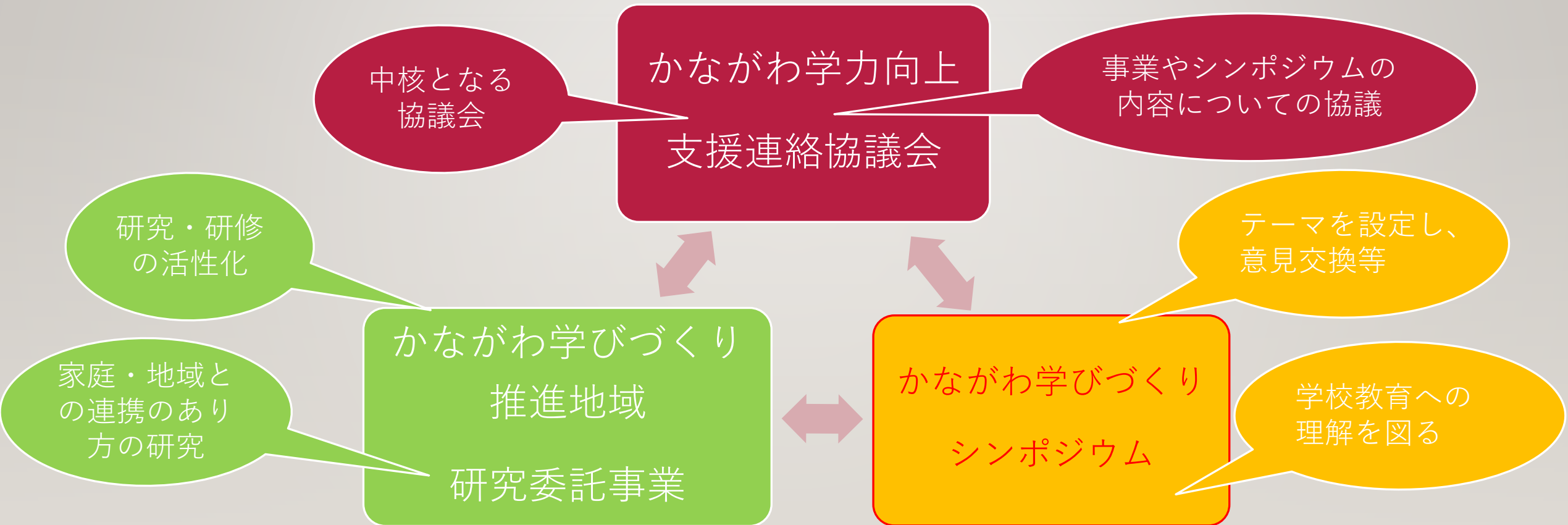


かながわ学びづくり推進事業 — 3つの取り組み —



かながわ学びづくり推進事業

— 3つの取り組み — (令和4年度から)



かながわ学びづくり推進事業

—かながわ学力向上（学びづくり）シンポジウム—

【模索期】

年度	テーマ（パネルディスカッション）
H19	現状と課題、今後の改善
H20	かながわの学びづくりにおける学校と家庭・地域の連携について
H21	学力向上に向けた、学校と家庭・地域の役割について
H22	学校・地域・保護者・行政の役割を踏まえた具体的な取組み～子どもたちの学習環境の向上について～

学校・家庭・地域の連携・協働
教員の授業力向上
家庭の協力による家庭学習の習慣化

具体的な推進方法
の模索

まずは
連携・協働
の模索

かながわ学びづくり推進事業

かながわ学力向上（学びづくり）シンポジウムー

【探究期】

教員の授業力向上
家庭の協力による家庭学習の習慣化

繰り返し
成果と課題
を問いつつ

年度	テーマ（パネルディスカッション）
H23	小・中学校における学力向上に向けた取組の成果と課題
H24	小・中学校における学力向上に向けた取組の成果と課題
H25	小・中学校における学力向上に向けた取組の成果と課題 ～校内の研究推進体制の構築と地域・保護者への発信の在り方～
H26	小・中学校における学力向上に向けた取組の成果と課題 ～子どもの実態に目を向けて、チームで取り組む学びづくり～
H27	小・中学校における学力向上に向けた取組の成果と課題 ～子どもの変容に目を向けて、チームで取り組む学びづくり～

学びづくり
の探求

学力
とは

組織
とは

取組を
共有す
るには

子どもを
見取るには

かながわ学びづくり推進事業

—かながわ学力向上（学びづくり）シンポジウム—

【継承・発展期】

10年間の
取組を総括

年度	テーマ（パネルディスカッション）
H28	これからのかながわの学びについて
H29	実践事例から学ぶ、チームで取り組む学びづくり
H30	子どもや先生が元気になるための学びづくり、つながりづくり ～校内研究のさらなる充実を目指して～
R1	語り合おう 子どもたちの学びをつくるには
R2	今、楽しみながら学び続けるために

学びづくりの主体は地域
地域・学校のボトムアップ
取組の発信、共有へ
教員・学校の主体的な取組へ

一人一人が
学びづくり
の
主体に

学びづくりを
きっかけに対話を

学びづくりから
つながりづくりへ

情報・課題
の共有から
行動の共有
へ

かながわ学びづくり推進事業

—かながわ学力向上（学びづくり）シンポジウム—
【個々が自覚し、参加する段階へ】

R1 **語り合おう** 子どもたちの学びをつくるには

R2 今、**楽しみながら**学び続けるために

R3 **新しい時代**に育む豊かな学び

R4 **子どもと大人でつくりだす**豊かな学び

主体的・
対話的で
深い学び

学力観の転換を
みんなで共有

地域・家庭との
「連携」から
「協働」へ

楽しむ

生活や社会
で生きる力
～学校だけ
では身に付
けられない
学びの力～